

的活動の実施を定めています。

(1) 近年の全体目標は「完全無災害」、スローガンは「ルール遵守と危険予知、全員参加で完全ゼロ災」です。さらに令和5年度はサブスローガンとして「小さなことから少しずつみんなで作ろう安全職場」を掲げ、職員一人ひとりの安全への感性を高めると共に、職員全員で小さなことから少しずつ安全な職場づくりに取り組んでいます。

(2) 不安全行為や危険個所の芽を摘むために、所長、産業医、衛生管理者及び安全衛生委員がそれぞれ毎月所内パトロールを行い、指摘事項を安全衛生委員会に報告しています。安全衛生委員会は各職場に改善を指示し、その後も改善が完全に実施されるまでフォローします。

(3) 毎週実施している研究所会議にて「事件事例紹介」を定期的（1回／月）に行っています。ここでは、原子力産業だけでなく広く一般産業にまで範囲を広げ、事件事例を取り上げて事故の原因と対策を職員一同に解説し共有しています。

(4) 最近では、全社的な取り組みとして、デジタル技術を使った事故防止情報の共有や教育等を充実させ安全意識に向上に役立てています。所内においては、工事（作業）計画等（大型重機の運行情報含む）を社内イントラネットに掲載するなどの取り組みを行い、安全確保に役立てています。

4. おわりに

開所以来続けてきた安全活動の成果として、当研究所は39年間無事故無災害を達成しました。今後もこの記録を更新するべく努力して参ります。東海ノア協定加盟事業所及び地元の皆様には、今後ご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

以 上